

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年1月10日
北アルプス地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	4	課題区分	C		
実施機関	北アルプス地域振興局			担当課	所属 環境課
事業名	北アルプス北部山域イメージアップ事業			電話	0261-23-6563
				E-mail	kitachi-kankyo@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	登山者等のマナー向上を図り、北アルプス北部山岳地域のイメージアップを目指す。			
	現状と課題	北アルプス北部山域は、日本の登山のメッカであり、毎年多くの者が訪れるが、営業山小屋、山案内人が多いこと、また、自然保護レンジャーの活動も活発であることから、他の山域に比べ比較的きれいに保たれているといわれている。 しかし、自然保護レンジャーの活動実績をみると、ゴミ拾い、踏み込み注意などマナー違反者への注意が多く、山域としてのさらなるイメージアップのために登山者等のマナー向上に取り組むことが必要である。			
	内容 (変更後の内容)	平成30年度に作成・配布したカードは登山者に概ね好評であったが、写真の種類が少なかつたため、カードの写真から外れる山岳の登山者や山小屋関係者には不評であったため、今年度は写真に取り上げる山岳写真を増やすこととする。 (1)登山者用のマナーカードの作成 ・トレーディングカードサイズのマナーカードを42,000枚作成する。 ・外国人にも対応できるよう多言語標記(日本語・英語)及びピクトグラム表示とする。 ・山岳写真を3種類から6種類以上とする。 (2)配布方法 ・山小屋、登山案内所での配布 ・自然保護レンジャーによる手渡し			
	事業期間	令和元年5月		～	令和元年12月
	成果目標 (成果指標)	マナーカード42,000枚の配布			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考	
	マナーカード作成費	マナーカードの印刷	187,336		
	郵送料	配布者への郵送	24,892		
	合計		212,228		
事業実績・成果	事業実績	事業の成果	評価		
	【マナーカードの作成】 ・8種類 42,000枚 ・内訳:大町市(コマクサ7,000枚、ライチョウ7,000枚、カクネ里氷河3,000枚)、白馬村(唐松岳3,000枚、大雪渓7,000枚、白馬鑓ヶ岳7,000枚)、小谷村(白馬大池5,000枚、雨飾山3,000枚) 【マナーカードの配布】 ・山小屋26軒、登山案内所6箇所、梅池ビジターセンター等で配布(23,300枚) ・県自然保護レンジャー127名による登山者へ手渡しで配布(18,000枚) ・自然保護レンジャーとの合同パトロールによる配布(700枚)	【マナー啓発】 ・登山者への啓発は、口頭啓発に比べマナーカードの配布は受け入れられやすく、より効果的。 ・登山者だけでなく、国立公園内で働く作業員に対する啓発(1社)まで対象が広がった。 ・学校登山の活用(1校)があった。 【山岳観光のPR】 ・施設の配布では、記念に持ち帰る方が増え、地域の山岳のPRツールとしても有効。 ・地域紙に掲載したところ、市町村の観光案内所に問い合わせがあり、マナーカードの認知度が上昇している。	○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下		
今後の方向性	登山者のみならず、国立公園内に関わる作業員への自然保護啓発にも効果的であることが確認できた。今年度の取組を踏まえ、自然公園法許可申請者に対する啓発や学校登山、観光案内所で配布等、啓発対象を広げていきたい。				